

(様式2) 社会資本総合整備計画

平成24年3月29日

計画の名称	拠点連携型都市としての中心市街地の再生		
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)	交付対象	福岡県 飯塚市
計画の目標			

平成18年3月26日の1市4町の合併により、県内4番目の面積(214.13km²)を有する本市では、合併後の5年間、(合併前の)行政サービスを保持するため、点在する公共施設や職員数の整理、事務事業の見直し等行財政改革により補ってきたが、サービスの標準化を目指すあまり、郊外型の都市構造を抜本的に見直すことができなかった。加えて、本来、新市の顔となるべき、中心市街地はロードサイド型の商業施設や大型量販店の立地により、市街地の活力の源泉となる中心商店街が疲弊し、都市の魅力や特色を失いつつあるのが現状。
本市においては、これまでの均衡ある発展を目指した拡散型の都市構造になっている現状を打開し、誰もが住みやすいコンパクトなまちづくりを推進するため、本計画において、地域コミュニティの担い手としての商店街の再生を図りつつ、アクセス機能の向上と不足する都市機能の付加により人が集い交流する場として、また住環境の整備による定住促進の場として、持続的に発展する中心拠点＝「飯塚の顔」の構築を目指す。

計画の成果目標(定量的指標)

- ・商店街の再生/人が集い、交流する賑わいの場づくり＝歩行者通行量・・・平日歩行者交通量と休日歩行者交通量の合計26,645(H23当初)を26,800(H28末)に、155人増加させる
- ・定住促進/誰もが住みやすい中心拠点づくり＝中心市街地居住人口・・・中心市街地内の居住人口3,696(H23当初)を3,820(H28末)に、124人増加させる。
- ・まちの拠点性の確保/まちの顔となる中心拠点の形成＝地区外来街者数の増加推移・・・コミュニティバスの年間利用者数28,000(H23当初)を36,960(H28末)に、8,960人増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)							
中心商店街における平日歩行者数と休日歩行者数の合計を推計する。	26,645人	25,326人	26,800人 0.6%増							
住民基本台帳及び外国人登録法に登録されている居住人口のうち、中心市街地内の居住人口を活用する。	3,696人	3,620人	3,820人 3.4%増							
地域拠点3箇所と中心市街地を結ぶルートにおけるコミュニティバス年間利用者数を推計する。	28,000人	36,960人	36,960人 32.0%増							
全体事業費	合計 (A+B+C)	5,869 百万円	A	4,876 百万円	B	0 百万円	C	993 百万円	効果促進事業費の割合 (提案分+C) / (A+B+C)	17.0%

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
A-3-1	都市再生	一般	飯塚市	直接	飯塚市	飯塚市中心地区都市再生整備計画事業	道路、商業、住宅等 99.6ha	飯塚市						1,820	別添1
A-3-2	再開発	一般	飯塚市	間接	まちづくり飯塚	ダイマル跡地事業地区暮らし・にぎわい再生事業	都市機能街なか立地支援 住宅等 1,860㎡	飯塚市						193	
A-3-3	都再区	一般	飯塚市	直接	飯塚市	飯塚本町東地区土地区画整理事業	都市再生区画整理事業 約0.7ha	飯塚市						860	
A-3-4	再開発	一般	飯塚市	間接	再開発組合	吉原町1番地区第一種市街地再開発事業	第一種市街地再開発 約0.5ha	飯塚市						859	
A-3-5	再開発	一般	福岡県	間接	再開発組合	吉原町1番地区第一種市街地再開発事業	第一種市街地再開発 約0.5ha	飯塚市						859	
A-4-1	住宅	一般	飯塚市	間接	民間	飯塚本町東地区優良建築物等整備事業	優良建築物等整備事業 共同住宅 2,000㎡	飯塚市						285	
合計													4,876		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業														備考	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 （百万円）
									H24	H25	H26	H27	H28		
C-1	活動支援	一般	飯塚市	直接	飯塚市	スマイル・コミュニケーション創出事業	記念事業イベント支援	飯塚市						3	
C-2	活動支援	一般	飯塚市	直接	飯塚市	戦略的逸品店舗誘致事業	空き店舗への誘致支援	飯塚市						45	
C-3	施設整備	一般	飯塚市	直接	飯塚市	街なかギャラリー運営事業	ジオラマ・展示ブース	飯塚市						8	
C-4	施設整備	一般	飯塚市	直接	飯塚市	街なか交流・健康ひろば運営事業(地域交流・健康増進施設)	施設整備（空き店舗利用）	飯塚市						1	
C-5	社会実験	一般	飯塚市	直接	飯塚市	街なか循環バス運行事業(社会実証運行)	バス運行実験	飯塚市						36	
C-6	公共交通	一般	飯塚市	直接	飯塚市	コミュニティバス運行事業	バス運行事業	飯塚市						136	
C-7	活動支援	一般	飯塚市	直接	飯塚市	コンパクトなまちづくりセミナー開催事業	コンパクトなまちづくりセミナー開催	飯塚市						3	
C-8	施設整備	一般	飯塚市	直接	飯塚市	街なか交流・健康ひろば整備事業(地域交流・健康増進施設)	床取得（A-3-2事業1F床）	飯塚市						195	
C-9	施設整備	一般	飯塚市	間接	飯塚医師会	医療関連施設整備事業	検診検査センター・急患センター・看護学校等	飯塚市						541	
C-10	—	一般	飯塚市	直接	飯塚市	街なか定住促進支援事業	街なか定住促進支援	飯塚市						25	
合計													993		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
C-1	(A-3-1)に合わせ、記念事業イベントによる商店街への回帰を図り賑わいを創出する。														
C-2	(A-3-1)に合わせ、特色ある店舗づくりを行い消費経済活動の基盤を整備する。														
C-3	(A-3-1)に合わせ、中心市街地に不足するコミュニティ機能の向上を図り、賑わいの創出を促進する。														
C-4	(A-3-1)に合わせ、中心市街地に不足するコミュニティ機能、健康増進機能の拠点化を図る														
C-5	(A-3-1)に合わせ、中心市街地内の利便性の向上及び回遊性の向上を図り、賑わいの創出を促進する。														
C-6	(A-3-1)に合わせ、中心市街地へのアクセス機能の向上を図り、交流人口の増加を促進する。														
C-7	(A-3-1)に合わせ、まちづくり意識の向上を図り、拠点連携型都市に対する認識を共有する。														
C-8	(A-3-2)に合わせ、中心市街地に不足するコミュニティ機能、健康増進機能の拠点化を図る														
C-9	(A-3-4)(A-3-5)に合わせ、中心市街地に不足する都市機能（医療・福祉）の集約化を図る														
C-10	(A-3-4)(A-3-5)に合わせ、街なかへの定住促進を図り、コンパクトなまちづくりを推進する。														

(様式3) 参考図市街地整備

